

おもひ

学校だより

かほく市立大海小学校

平成25年7月19日(金)発行



学童相撲大会平成24年度
優勝者のみなさん
平成25年度の優勝者は？

1学期を振り返って

校長 油井宏樹

4月5日に始まった1学期も本日、終業式を迎えました。保護者や地域の皆様方のご支援とご協力に感謝申し上げます。

この1学期、子どもたちは、学習や体力づくりにがんばり、心も体も大きく成長しました。まず、5・6年生の宿泊体験学習では、所員の人がびっくりするほど行動や時間を守り、高学年としての自覚をつけることができました。また、郡市小学校音楽会でも、全員の心が一つになった素晴らしい演奏を聞かせてくれました。そして、学習面では小規模校のよさを生かし、一人一人が分かることを大切にした指導をしてきました。授業では十分に理解できないところは、放課後の補充学習でケアしたつもりです。体力面では、スポチャレいしかわに取り組み、石川県の小学校ランキングに上位の成績を維持している学年があります。このがんばりを秋の運動会やマラソン大会で成果を出してほしいと考えています。

ただ、よいことばかりではありません。子どもたちの姿をみていると一部ではありますが、しつけられていない子どもや不足の子ども、教師の指示や指導に対して「いやだ」とか「やりたくない」と平気で言う子ども、子ども同士のトラブルから席を離れ廊下で泣いている子どもがいます。ご家庭でも親の指示や指導に従わないことが許されているのではないのでしょうか。子どもの躾は子育ての基礎基本だといわれます。「躾なくして社会性、学力の向上なし」と考え、学校でも基本的な生活習慣、学校生活のきまりを守るように指導しています。日頃、子どもと時間がなかなかとれないというご家庭でも、夏休みは一緒に過ごす時間も増えると思います。お子さんと一緒に過ごし、善悪の判断をしっかりと話し、親子の愛を深めてください。

さて、いよいよ明日から長い夏休み。子どもたちにとって夏休みは、家庭・地域の人々との交わりや自然体験を豊かにする機会です。日頃の学校教育ではできない夏休み。夏休みの基本的な捉えとして、「家族や地域の人々とのつながりの中で、健康で安全に、充実した夏休みを過ごさせる」ことを考えております。特に安全・安心については、事故や誘拐に遭わないよう、防犯意識をもって、「イカのおすし」を守ることを大切にしています。生活の場が学校から家庭に変わります。時間の制約もなく、先生もいません。気がゆるむと危険なことが待ち構えています。かけがえのない命、たった一つしかない自他の命を守り、事故や怪我のない健康で楽しい夏休みを過ごしてほしいものです。

どうか保護者の皆様には、子どもたちが、健康で安全な有意義な夏休みを過ごすことができますようご協力をお願いいたします。 _



友だちの支えがあるから楽しい。(4年生 算数)

最後になりますが、星野富弘さんの詩をご紹介します。

「辛いという字がある。もう少しで幸せになれそうな字である」

字をよく見てみると、辛いと言う字は幸せという字に比べて何か足りないような気がしますね。夏休みには辛いことを経験して、それをプラス(+)して、幸せになってほしいと思います。